

日本医労連 第69回 定期大会

みんなの力ひとつに 要求前進・20万医労連へ 決意新たに!



6年半で、大企業は内部留

は、自民・公明の与党が過半数を獲得したものの、維新を含む改憲勢力を3分の2以下に押しとどめました。選挙後、安倍首相は改憲を目指す考えを強調しましたが、共同通信の調査では、安倍政権下での改憲に

森田しのぶ中央執行委員長あいさつ(要旨)

本大会直前に実施された参議院選挙では、自民・公明の与党が過半数を獲得したものの、維新を含む改憲勢力を3分の2以下に押しとどめました。選挙後、安倍首相は改憲を目指す考えを強調しましたが、共同通信の調査では、安倍政権下での改憲に



日本医労連は第69回定期大会を7月24日から3日間、静岡県伊東市で開催し、次年度の運動方針と予算を採択・確立し、新年度役員を選出しました。大会は、たたかいに裏打ちされた代議員からの発言があいつぎ、産別運動の前進と組織拡大強化への決意を固め合うものとなりました。

参議院選挙直後に開催された定期大会には、7全国組合47医労連から代議員183名と役員、傍聴あわせて298人が参加しました。

つのも、防災対策や公立・公的医療機関や介護・福祉施設の果たす役割、働く労働者の人員配置の重要性にふれまし

た。そして安倍政権が進める憲法改悪、医療・社会保障改悪、労働法制の改悪を許さず、人権が守られ尊重される社会をめざして奮闘しようと呼びかけました。

来賓として全労連、福祉保育労、医団連(医療団体連絡協議会)、日本共産党から連帯のあいさつをいただきました。

言。産別の運動への確信と産別結果強化の重要性が多くの代議員から発言され確信が広がりました。地域医療や医療機関の統廃合とたたかひの経験では「住民との共同」の大切さが繰り返し語られました。発言全体の半数以上が組織拡大強化にふれられた発言だったのも特徴です。新歓や職場での組合員拡大、共済を活用した仲間ふやし、組合のない事業所への働きかけ、労働相談からの組合結成などたくさん経験と教訓が発言されました。次世代の組合活動家の育成にとって学習の大切さが



全国のみなさんの奮闘により、17万4763人で大会を迎えました。制度・政策に大きな影響を与え、医療・介護・福祉労働者が誇りをもって働き続けられる職場をつくり、諸要求実現のためにも、ふさわしい量と質を持った組織勢力が必要です。医療・介護・福祉労働者800万人を視野に、来年大会を増勢で迎え、20万医労連建設にむけ一丸となって奮闘しましょう。

新旧役員の紹介とあいさつ、大会宣言の最後に、参加者全体で運動と組織的前進を誓い合い、森田執行委員長の音頭による「団結がんばろう」で散会しました。

ありがとうございます
ございました

日本共産党 高橋千鶴子 衆議員



医団連代表 木下興
全日本民医連事務局次長



福祉保育労 澤村直 書記長



全労連 野村幸裕 事務局長

来賓の方々

〈採決結果〉

- 2019年度運動方針案 満場一致で可決
- 2019年度予算案 満場一致で可決
- 規約・規定の改定案(投票数183)賛成183
- 19秋闘産別スト権(投票数181)賛成181
- 共済事業方針・予算案 承認

日本医労連共済第31期運営委員

監

事

役職
運営委員長
副委員長
事務局次長
事務局次長
運営委員

氏名
森田しのぶ
森田進
内田博之
寺園通江
玉村美芽子
岡野学
山口早苗
金子昌仁
浅山麻実
坂本論
松本金浩
永島達哉
新保亨子
門本健之
藤本千津子
池田勝久
瀧川聡
中島良子
荒友里
清水浩介

選出組織および役職
日本医労連中央執行委員長
日本医労連書記長
日本医労連書記次長
日本医労連中央執行委員
日本医労連中央執行委員
全医労書記
全厚労書記次長
全日赤書記次長
全JCHO病院労組書記次長
北海道医労連書記次長
秋田県医労連書記長
千葉県医労連書記長
富山県医労連書記長
兵庫県医労連書記長
広島県医労連書記長
徳島県生協労組執行委員
鹿児島県医労連書記長
日本医労連中央執行委員
国共病組書記長
新潟県医労連書記次長
東京医労連書記次長



執行委員
藤田 省吾
埼玉



書記次長
吉村得王彦
大阪



副委員長
松本 隆浩
京都

ご苦労さまでした
退任され
た役員

大会宣言

日本医労連は7月24日～26日までの3日間、静岡県伊東市において第69回定期大会を開催し、7全国組合・47都道府県医労連から、代議員183人、傍聴・役員等あわせて298人が参加しました。すべての組織が組織拡大に奮闘し、組合員数17万4763人で大会を迎えることができました。

私達はこの一年間、政治の私物化、社会保障の連続改悪、立憲主義に反し、改憲に固執する安倍政権に対して、憲法改悪阻止で一致する多くの仲間とともに、ねばり強いたたかいをすすめました。沖縄の県知事選挙や県民投票では、米軍基地撤去の明確な民意が示され、先の参議院選挙では、市民と野党の共闘で、改憲発議に必要な議席3分の2を阻止しました。

今大会では、文書発言を含む67本の発言で活発な討論が行われました。参議院選挙では、統一候補への支援を通して、政治革新への決意が語られました。産別最賃の自治体請願や、産別団交で粘り強いたたかいでベアを勝ち取った報告、深夜前の勤務免除を盛り込んだ協定締結、工夫をこらした署名の取り組み、地域医療を守るたたかいや、働くルールの確立に向けた教訓と共済活用した組織拡大強化の経験、労働組合の見える化、そして産別結集の重要性が強調されました。また、様々な分野で青年自らが活動に参加するなどが、熱く語られました。

残業代や夜勤手当にたよらなくとも、8時間働けばまともに暮らせる賃金が必要です。そのためには、大幅賃上げとともに、全国一律最賃制度の実現と、産別最賃の新設が求められます。18年度から開始した看護師・介護職の特定最賃を求める署名は、ネット署名にも取りくみ71自治体で請願採択されています。引き続き、職場・地域で大いに奮闘しましょう。

「働き方改革関連法」は、過労死レベルの時間外労働時間が容認等、問題がある一方で、私たちの運動によって時間外労働等の上限規制にかかわる36協定指針、労働時間の客観的把握義務、勤務間インターバル制度の努力義務化等、長時間労働の是正が盛り込まれました。

夜勤改善・大幅増員署名の賛同・紹介議員は1年間で100名を超え、医師・看護師・介護職員の働き方や処遇改善を求める国会質問が行われています。世論でも、医療・介護・福祉労働者の働き方に対する関心が集まっていることから、さらなる紹介議員の獲得と、100万筆を目標に19秋「いのちまもるキャラバン行動」を通して、地域医療の確保と夜勤改善・大幅増員を世論化させるために、地域で対話を広げ、すべてののはたらく仲間とともに、声をあげていきましょう。

800万人の医療・介護・福祉労働者を視野に入れた組織拡大は、より強固な医療産別の建設につながり、医療・社会保障政策に大きな影響を与えることができます。

安全・安心の医療・介護・福祉の提供のために、組織数18万人の突破と、早期に20万医労連の建設をめざします。

平和と民主主義を守り、社会保障の充実で、安心して生き、働き続けられる社会にしていくために、今大会で決定した方針に団結し、全国のなかまと共に奮闘することをここに宣言します。

2019年7月26日

日本医療労働組合連合会第69回定期大会

よろしくお願ひします

2019年度日本医労連中央執行委員

(敬称略)



中央副執行委員長
高橋 勝行
福島・再



中央副執行委員長
畑中 剛喜
全厚労・再



中央副執行委員長
三浦 宜子
全医労・再



中央副執行委員長
佐々木悦子
全医労・再



中央執行委員長
森田しのぶ
全日赤・再



書記次長
内田 博之
山梨・再



書記次長
温井 伸二
北海道・再



書記長
森田 進
東京・再



中央副執行委員長
日高 琢二
福岡・再



中央副執行委員長
鎌倉 幸孝
長野・再



中央執行委員
菅原 忠
全労災・再



中央執行委員
大島 賢
全JCHO病院労組・再



中央執行委員
中村 健一
全日赤・再



中央執行委員
松尾 晃
全厚労・再



書記次長
米沢 哲
東京・新



中央執行委員
渡辺 勇仁
山形・再



中央執行委員
五十嵐久美子
岩手・再



中央執行委員
黒澤 幸一
北海道・再



中央執行委員
松田加寿美
北海道・再



中央執行委員
油石 博敬
北海道・再



中央執行委員
原 英彦
愛知・再



中央執行委員
寺田 雄
東京・新



中央執行委員
村上 眞一
東京・再



中央執行委員
青山 光
東京・再



中央執行委員
柏木 哲哉
神奈川・新



中央執行委員
瀧川 聡
福岡・再



中央執行委員
井上 純
徳島・再



中央執行委員
森本 忠春
岡山・新



中央執行委員
石堂 吉輝
奈良・再



中央執行委員
林 信悟
愛知・再



中央執行委員
五十嵐建一
書記局・再



中央執行委員
山口 一秀
書記局・再



中央執行委員
寺園 通江
書記局・再



中央執行委員
川上 真理
鹿児島・新



中央執行委員
田中 直光
熊本・再

松本隆浩

顧問の委嘱

2019年度

選挙管理委員
玉村美芽子(全医労)
河野昌晃(全日赤)
佐藤英昭(和歌山)
井樋口美香子(沖縄)



会計監査委員
鮫島 彰
神奈川・再



会計監査委員
高橋ただし
全厚労・再



会計監査委員
桶谷 努
全医労・再